

新生美術館利用者数目標

<考え方>

新生美術館として、次の利用者増の取り組みを行う。

取り組みによる利用者数の目標は、現在の近代美術館の利用者数をベースに新生美術館としての利用者増の目標分を加えて設定する。また、館外での展示やアウトリーチ活動についても交流人数として計上する。

<新生美術館としての利用者増の取り組み目標>

○主に企画展の観覧の促進につながる取り組み

目標① 集客力向上による企画展来館者の増加

新生美術館となり、館全体の魅力が向上することや、展示室面積が広がり、より充実した展覧会が開催できることなど、館の魅力の向上や利用者開拓の取り組みを行うことで、来館者を増やす。

目標② 新たな展開の企画展による来館者数の増加

新館に設置予定の展示室を活用して、実験的な企画や若手作家の作品、デザインやファッションなど、これまで近代美術館が扱ってこなかった展覧会を開催することとし、新たな来館者を開拓する。

目標③ リピーターの獲得(友の会会員拡大)

新生美術館のリピーターやファン層の拡大を図るため、友の会等の会員を増やす。

○主に常設展の観覧の促進につながる取り組み

目標④ 県内の子どもの来館者の増加

教育プログラムの開発と学校教育との連携により、子どもの来館者の増加を図る。

目標⑤ 神と仏の美とアール・ブリュットの常設展示による来館者の増加

新たに神と仏の美と、アール・ブリュットの常設展示を行い、常設展示の来館者を増やす。

○主に学習・交流・普及事業等利用の促進につながる取り組み

目標⑥ 県立図書館との連携強化による来館者の増加

図書館利用者の誘導や連携した事業などを実施する。

目標⑦ 学習・交流・キッズルーム等を目的とした来館者の増加

充実した情報と、様々な学習や交流の機会を提供し、利用を促進する。

○交流（館外活動）人数の拡大につながる取り組み

県内各地での出張展示（おでかけミュージアム）や学校等でのアウトリーチ活動を実施する。

■開館数年後に見込まれる利用者数目標

推計区分			上位	下位
美術館来館者数	A 現在の 近代美術 館の数値	近代美術館の企画展来館者数（H19-23平均）	47,000 人	47,000 人
		近代美術館の常設展来館者数（H19-23平均）	37,000 人	37,000 人
		交流・連携・普及事業参加者数（H19-23平均）	47,000 人	47,000 人
		小計（A）	131,000 人	131,000 人
	B 新生美術 館としての 目標	企画展来館者数の増	65,000 人	41,000 人
		常設展来館者数の増	56,000 人	29,000 人
		交流・連携・普及事業参加者の増	43,000 人	22,000 人
		小計（B）	164,000 人	92,000 人
美術館来館者数 計（A+B）			295,000 人	223,000 人
交流人数 （館外活 動）	C 新生美術 館としての 目標	出張展示、アウトリーチ活動等の実施	29,000 人	15,000 人
	交流人数（館外活動） 計（C）		29,000 人	15,000 人
美術館利用者合計（A+B+C）			324,000 人	238,000 人